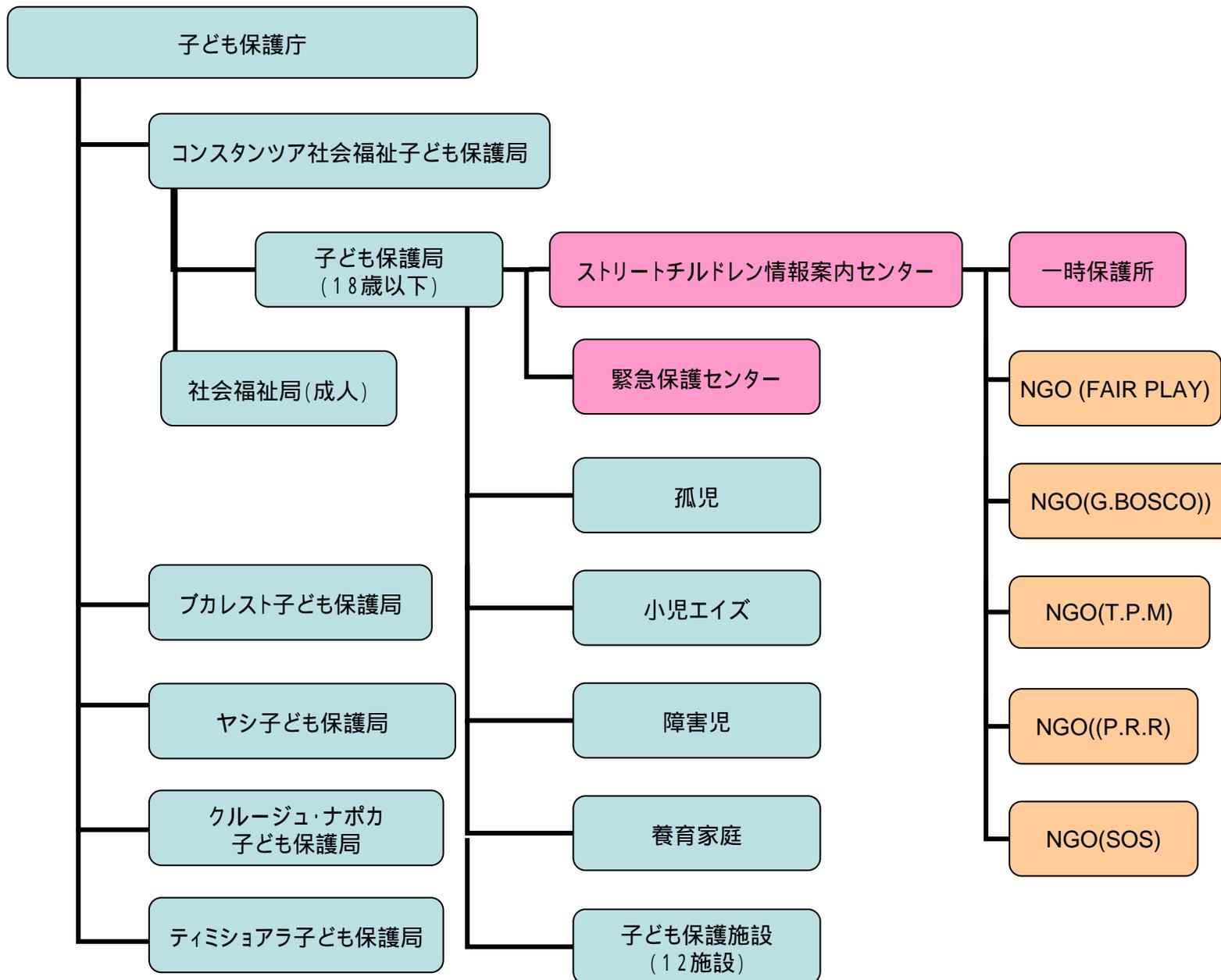


ルーマニアにおける ストリートチルドレン保護活動

大阪府大東市立谷川中学校

養護教諭 堀口 かえで

15年度1次隊 ソーシャルワーカー



ルーマニアの子ども保護状況(2004年)

- 保護施設: 1,363施設
- 保護人数(0~18歳): 29,821名
- 割合:

1歳未満	19.0%
1~2歳	2.5%
3~6歳	7.3%
7~9歳	10.1%
10~13歳	<u>22.4%</u>
14~17歳	<u>38.0%</u>
18歳	17.0%
- 小児エイズ感染・発生数 3,558名
(うちエイズ発症者2,217名)
- コンスタンツァ子ども保護局 子どもファイル数 2,741名分

コンスタンツアのストリートチルドレン

1, ストリートチルドレンになる理由

家族の暴力(飲酒)

貧困

2, 春から秋にかけて増加する

3, 生活場所: マンホール、団地や建物の階段、廃屋

4, 生活の糧: 駅や市場で物乞い、
窃盗(バスや市場の人混み、古鉄、
路上駐車 of 車内等)

売春

通所施設での食事

5, 施設来所理由:

自ら来所

警察による保護

通報(近所の住人)



派遣時の目標

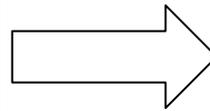
- ・子どもの笑顔を増やす
- ・生きる力を育てる
- ・ひとり一人との出会いを大事にする

隊員の役割

・最初の活動計画

ストリートチルドレンの現状把握
施設内における子どもの活動の充実

ルーマニアの子どもたちとその社会環境の把握



・変更した活動計画

NGOとの関係強化
子どもの保護・定着率の向上
国民の理解

人と人をつなぐ

ストリートリルドレンの為の昼と夜の 保護施設(一時保護所)



藝術週間



施設での活動・遠足



クリスマス



有志キャラバン隊：大きなカブ



訪問活動



書道展



日本文明文化センター：俳句・日本語



帰国後の活動



帰国後の活動：谷川まつり

